



Unique & Exciting Campus

UEC 基金たより

vol.1

2012年12月発行



電気通信大学基金事務局
〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
メールアドレス: kikin@office.uec.ac.jp

UEC 基金で "Unique & Exciting Campus" の実現を!

電気通信大学長 **梶谷 誠**



この度、電気通信大学 (UEC) 基金を創設いたしました。

電気通信大学は、1918年に社団法人電信協会管理無線電信講習所を前身として産声をあげ、1949年に新制大学として発足後も、電気・情報通信技術分野に軸足を置いた教育研究を展開してきました。

この間に約6万5千人の人材を送り出し、現在は、1学部・2研究科をはじめ、多くの先端的研究を推進する研究施設を有して、社会の発展に貢献しています。このように大学が発展・充実できたことは、同窓会 (目黒会) をはじめ、各界、各関係者の御支援・御協力があったのことに深く感謝申し上げます。

現在、国立大学は2004年の法人化によって、国の直接の管理から解かれ、自律性が与えられました。各大学は、それぞれのミッションやビジョンを明確にし、特色を鮮明に打ち出して、その存在価値を高めねばなりません。しかし、国立大学は自律性を付与されたとはいえ、国からの交付金は毎年削減され、もはや国の資金を頼りにしているだけでは未来に向けた先進的な活動はできません。

電気通信大学は、2018年の創立100周年を目指して「UECビジョン2018～100周年に向けた挑戦～」を掲げ、学生、教職員のみならず、同窓会 (目黒会) と連携し、オール電通大でビジョン実現に向かって挑戦を続けています。この挑戦を实らせるためには、電気通信大学を一層社会に開放し、社会との連携の下で、社会に貢献できることを目指さなければなりません。そのために必要な資金を、本学のビジョンに共鳴してくださる皆様から広く募り、皆様とともに電気通信大学の活性化を推進し、社会価値を高めます。

寄附状況 (平成24年11月25日現在)

74件 17,973,412円

内 訳		
法人・団体	3件	282,412円
個人	71件	17,691,000円

UEC 基金にご寄附いただいた皆様のご芳名を web に掲載しています。

ご協力に感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

<http://www.uec.ac.jp/kikin/>

UEC 基金へのご協力のお願い

電気通信大学同窓会

社団法人目黒会

会長 安田 耕平



電気通信大学同窓会社団法人目黒会は、梶谷誠学長が提唱する「UECビジョン2018 —100周年に向けた挑戦—」を全面的に支援し、活動を行っています。

このたび、梶谷学長を委員長とする創立100周年記念事業委員会が発足し、目黒会からも委員として参加しています。

思い起こせば創立80周年記念事業の時には、角田稔元学長が実行委員長となり、目黒会は同窓生を総動員して年代別同窓会、企業別同窓会、クラブ活動同窓生、研究室同窓生が懸命に活動しました。

結果、総額約3億8千万円の基金が集まりました。

皆様ご存知のように、その基金で創立80周年記念会館（リサーチユ）を建設し、大学へ寄附いたしました。また、学術交流基金として5千2百万円を大学へ寄附いたしました。

現在リサーチユでは、同窓生だけではなく、調布市民や近隣の小中学生が数多く利用しています。また、学生の就職相談では、毎日のように目黒会就職相談員が大勢の就職希望の学生に対し、相談に乗っています。

今般、目黒会の中にも100周年記念事業支援委員会を設立しました。しかしながら昨今の個人情報保護法規定等により、以前とは違う形での活動を余儀なくされています。

広く同窓生の皆様にご理解をいただき、本事業への絶大なるご協力をお願いいたします。

UEC ビジョン 2018 —100 周年に向けた挑戦—

1. 教育研究総合戦略

「総合コミュニケーション科学」に関する教育研究の世界的拠点をめざします。

2. 教育方針

国際標準を満たす基礎学力の上に、国際性と倫理観を備え、実践力に富む人材を育てます。

3. 開かれた教育研究環境

世界から学生や若手研究者が集い、伸び伸びと研究し、そこからユニークな発想が生まれる環境を整えます。

4. 社会との関係

国内外の大学や産業界および地域・市民などとの多様な連携と協働により、教育研究の質を高め、社会に貢献します。

5. 組織・経営・運営

経営の開放性と透明性を高め、学生や職員相互の信頼と士気が高く、社会に信頼される大学をめざします。

※総合コミュニケーション科学とは、「人と人」「人と社会」「人と自然」「人と人工物」が相互作用する双方向コミュニケーションを実現するため、コミュニケーションに関わる科学技術を統合・融合することで創出される科学の新しい概念です。専門分化した科学技術をコミュニケーションという視点で捉え直し、未知の学問領域を構築しようとしています。

電気通信大学基金事務局

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL：042-443-5132（平日9時00分から17時00分まで）

FAX：042-499-4858

メールアドレス：kikin@office.uec.ac.jp



基金についての最新情報は web をご覧ください

UEC 基金

検索